

せいしんがい報

2022年1月1日 第131号

注目記事

- ◆1～3ページ 新年の挨拶
◆4ページ 焼き芋パーティー・さつまいも掘り
◆5ページ 天眞庵でランチ
◆6ページ いろいろな作物・荘内買い物・居宅訓練
新管理組合あいさつ・新人紹介・寄付・屋根及び外壁改修塗装事業完了

法人本部
〒972-0161 福島県いわき市遠野町上遠野字堀切12-1
☎(0246) 74-1551 ㊟(0246) 74-1561

救護施設やしおみ荘
〒972-0161 福島県いわき市遠野町上遠野字堀切27
☎(0246) 89-3333 ㊟(0246) 89-3334

指定障害者支援施設ふじみの園・ショートステイほっと
〒972-0252 福島県いわき市遠野町上根本字白坂384-1
☎(0246) 89-3400 ㊟(0246) 89-3454

グループホーム レジデンスなごそ
メゾン・ド・あたご、メゾン・ド・ほりきり、コーポおかのな

就労継続支援B型ワークセンターしおさい
〒971-8161 福島県いわき市小名浜諏訪町1-10
☎(0246) 73-2077 ㊟(0246) 73-2078

就労継続支援B型天眞庵
〒974-8212 福島県いわき市東田町2-11-7
☎(0246) 77-2033 ㊟(0246) 77-2733

障害児通所支援第2チャーム・日中一時支援第2チャーム
〒973-8409 福島県いわき市内郷御台境町鶴巻45-2
☎(0246) 84-6882 ㊟(0246) 84-6883

障害児通所支援みよん・日中一時支援みよん
〒974-8261 福島県いわき市植田町林内11-1
☎(0246) 85-5720 ㊟(0246) 85-5721

ハーモニセンター
〒971-8162 福島県いわき市小名浜花畑町19-10

・指定特定相談事業所せんとらる
☎(0246) 38-3520 ㊟(0246) 38-3521

・就労移行支援・就労継続支援B型支援虹のかけはし
☎(0246) 73-0111 ㊟(0246) 73-0112

・障害児通所支援チャーム・日中一時支援チャーム
☎(0246) 73-2033 ㊟(0246) 73-2034



謹賀新年

社会福祉法人 誠心会 理事長 松崎 有一



新年あけましておめでとうございます。昨年は何かと多くの人に支えられ、新しい年を無事に迎えられた事に感謝申し上げます。

昨年は、東日本大震災から10年が過ぎ少しずつ東日本の被災先も復興してきましたが、世の中では大きな出来事がありました。アメリカでは、ジョー・バイデン氏が大統領に就任し、中国では共産党創設100周年の式典が開催され、習近平国家主席の政治基盤の安定化を図りました。しかし、なんといっても新型コロナウイルスが世界に蔓延り、日本においても一部地域で緊急事態宣言が出され移動が規制されました。8月には世界で10億人を超える人が罹患しパンデミックとなりました。

そのような中、新型コロナウイルスワクチンが完成し、我が国においてはそのワクチンを接種することにより、東京オリンピック・パラリンピックが開催、史上最多の58個のメダルを獲得しました。しかし、新型コロナウイルス感染症の蔓延が収束しない中、自由民主党の総裁任期が迫り、菅政権の支持率低下により再選に挑戦することが出来ずに退陣に追い込まれました。岸田新総裁が誕生、衆議院議員総選挙の結果は、自由民主党が単独過半数を確保しました。その後、アメリカ・欧米で流行・拡大していたオミクロン株のウイルスが日本にも漏れなく上陸し、外国からの入国管理を制限、政府は蔓延防止の注意を呼び掛けています。

岸田政権の政権公約は、「新しい資本主義」「成

長と分配」を掲げました。それまでの経済対策は新自由主義を掲げて規制緩和をすることにより、経済成長を進めてきましたが、国民の所得の格差が広がってきたことから、分配に関しては中間層の所得を手厚くするとし、その一環として「看護・介護・保育」に関する賃金を3%程度引き上げると表明しました。これは従事者に対して、国は全世代型社会保障構築会議のもと、公的価格評価検討委員会を設置し、収入に関すること等を抜本的に見直すとしてしました。これは、全産業の平均賃金に比較すると、国の最近の統計から低く抑えられてきたことによるものであります。これらの措置を行うことで、収入を改善し柔軟に職員の処遇改善を行えることとしました。また、障害者総合支援法の改正時期となっていますが、議論が進まず今年の5月頃を目指して結論を得たいとされました。

このような中、当法人としては、職員の間層を中心として先に給与表の改定を実施してきましたが、さらに公定価格の改定でさらに改善をしていきたいと考えております。また、今年の中長期計画2020において、グループホームの移転や就労と生活介護、つまり小規模多機能施設の建設などが課題であります。

今年も役職員一同、原点に戻り事業を推進して参りたいと考えております。どうぞ、各関係者の皆様におかれましては、倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますよう重ねてお願いしまして、年頭のご挨拶に代えさせていただきます。



新年のごあいさつ



救護施設 やしおみ荘

施設長 渡邊 誠二郎

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

昨年中は、利用者様やご家族様そして地域の皆様より暖かいご支援やご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染状況に翻弄された1年となりました。ワクチン接種が進み多少の安心感を得ることはできましたが、やはり、一刻も早く効果的な治療薬の開発が望まれます。

さて、長期に渡るコロナ禍の中で、それ以前に比べ、様々な要因により生活困窮に陥ってしまった方々の動向やその支援等がニュースとしてメディアに取り上げられる機会が増えてきているように思われます。やしおみ荘は救護施設として、こうした方々を含め、地域での生活に何らかの支障がある方に対して、その機能を生かし、最後のセーフティネットとして、地域社会の中で、その受け皿となれるよう日々支援に取り組んでいるところです。

入所されている利用者様に対しては、職員と一緒に話し合いながら充実した施設生活が送れるよう創意工夫を重ね支援にあたっております。今年は、少しずつ、地域の皆様と交流を深め、みんなが笑顔で過ごせる機会が多く持てるよう取り組み、『創造・挑戦そして調和』という法人理念のもと、安心・安全と満足度の両立を図りながら、地域に求められている救護施設としての機能・役割を高め、利用者様が望む生活を支援していきたいと考えております。

本年も利用者様、ご家族様、そして地域の皆様方の変らぬご指導ご支援をお願い申し上げます。皆様におかれましても、今年が良き年になりますように、ご祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

障害者支援施設 ふじみの園

施設長 櫛田 節子

新年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。昨年中は利用者様、ご家族様をはじめ、地域の皆

様、関係機関の皆様よりご支援、ご理解を賜り厚くお礼申し上げます。コロナ禍の2度目の年明けとなり、新型コロナウイルス対策が当たり前の日常にも慣れてきましたが、やはり息苦しさを感じずにはられません。また、新たな変異株の出現にこの先どのようになるか見通せない状況ですが、施設での単調になりがちな日々の生活を少しでも笑顔のある楽しいものにしたと、職員一同工夫を重ね支援にあたっております。感染対策を講じながら、そして利用者の思いを汲み取りながら、足踏み状態であった一部のサービス提供のあり方を再考し、施設運営に取り組んでいきたいと考えております。今年の干支、壬寅(みずのえとら)は厳しい冬を超えて芽吹き始め新しい成長の礎となるとの意味合いがあるとされています。このコロナ禍の「危機」を新たな「転機」に変えることができるよう努めてまいりますので、引き続きご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

共同生活援助

管理者 永沼 憲一

皆様、明けましておめでとうございます。利用者様、ご家族様、地域の皆様、福祉に係わる皆様には、健やかに新年を迎えられたことと心よりお喜び申し上げます。また、日頃より私共の福祉活動に対しまして多大なご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、ここ約2年の間、社会的にもまた施設としても、新型コロナウイルス感染症対策が常に主な課題でありましたが、仮に一時的とはいえようやく安定した状態を見せ始めました。今後は感染者数のリバウンドに十分配慮しつつ、これまで利用者様に我慢を求めてきた外出などの活動も、徐々に安全性に配慮した上で、また状況を配慮しつつ慎重に再開いたしている所です。利用者様のストレスも徐々に緩和されつつあります。今後は完全な感染症の収束を願うばかりです。

このような中、私共グループホーム職員一同、安心して暮らせるホームを目指し、少しでも多くの福祉ニーズに対応できるよう努めていき

いと考えておりますので、本年も皆さまのご支援の程、よろしくお願いいたします。

障害児通所支援

チャーむ・第2チャーむ・みによん

管理者 小宅 幸恵

新年あけましておめでとうございます。

昨年一年を振り返りながら、本文をしたためておりますが、仕事もプライベートも新型コロナウイルスに大きく影響を受けた一年でした。そのような中、賛否両論はありましたが、一年遅れで東京オリンピック・パラリンピック2020が開催され、成功裏に終わり世界に感動と勇気を与えました。コロナ禍でなければ、是非とも生で観戦したいと考えていましたが、願いが叶わず非常に残念な思いをしました。

さて、多様性及び包摂の時代といわれる今、私たちの事業についてもその存在意義を見つめ直す時代となっております。営利企業においては、営利ばかりを追求し、株主に還元するという体質から、CSRやSDGsへの取り組みが普遍化しつつあります。そして、我が社は何のために世にあるのか。という問いかけに今、世界の多くの会社が直面しているそうです。

当法人に目を向けた場合、その使命としては、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を确实・適正に実施できるよう、「公の支配に属する」と位置づけられた非営利法人である。というのが教科書通りの解答だとは思いますが、新年を迎えるにあたり改めて当法人・事業所の存在意義であるパーパスを見つめ直していきたいという思いです。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

就労移行支援・就労継続支援B型

虹のかけはし

管理者 林 信孝

新年あけましておめでとうございます。

昨年中は、利用者様やご家族様そして地域の皆様より、暖かいご支援やご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年も新型コロナウイルスに始まり、新型コロナウイルスで終わった年でしたが、行動を制限された年から共存していく年の始まりかと思っております。

そのような中で、新型コロナウイルス感染症

の予防対策を行いながら、就労支援、各行事を行うことができました。

これもひとえに皆様の感染症に対する意識の高さ、予防の徹底にあり、ご協力の賜物であります。

本県は10年前震災に見舞われました。復興も道半ばではありますが、留まることなく確実に進んできました。

新型コロナウイルスも克服し元の生活に戻れると思っております。

利用者様、ご家族様には安心、安全を提供できるよう邁進してまいります。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

相談支援事業所

せんとらる

管理者 七木田 俊介

新年明けましておめでとうございます。

昨年中は利用者様、ご家族様、地域の皆様、関係機関の皆様より暖かいご支援やご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一年延期となった東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。無観客での開催ではありましたが、テレビ等で目の当たりにするアスリートの勇姿に感動を覚えました。また、パラリンピックでのアスリートの躍進により障がい者スポーツへの関心の高まりも感じました。

東京オリンピック・パラリンピックは「多様性と調和」「共生社会の実現」をテーマに掲げ開催されました。しかし、ジェンダーやダイバーシティに関する差別発言等が大きな問題となった大会でもありました。障害福祉サービスの理念は、利用者の方が地域でより自立した生活を送ることができるよう支援することであり、多様性社会、共生社会の実現に向けてお手伝いしていくことです。せんとらるとしてもその一翼を担えるよう、日々努力してまいりますので、引き続き皆様のご支援ご鞭撻を賜りたくお願い申し上げます。

焼き芋パーティー

やしおみ荘

例年8月に行っている夏まつりを一昨年(おとし)から10月に開催予定としていましたが、新型コロナウイルスの影響により開催できませんでした。昨年もその影響は続き、変異株の猛威も重なったことで中止にせざるを得ませんでした。10月20日(水)秋まつり代替行事として、焼き芋パーティーを開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響で多くの行事が中止・縮小となっており、久しぶりの行事と屋外での活動ということもあり、準備の段階から多くの利用者が外に出て、どのように焼き芋が作られるのか興味津々な様子でした。また、焼き芋パーティーで使用したサツマイモはやしおみ荘で育て、採れたものも含まれており、この日のために数日前に畑で芋掘りも行なっていました。年によっては猪の被害もあったサツマイモも、昨年は大小・形も様々で、近年で一番の収穫量となりました。苦労して育て収穫し、今日に向けて準備していたこともあり、「美味しくできるといいね」「楽しみだね」といった会話も聞かれました。

当日は職員と共に炭を使って火を起こす作業や、サツマイモを新聞紙とアルミホイルで包む作業を手伝ってくれる等、多くの利用者が準備に参加していました。中には車椅子を使用している利用者も前庭に誘導し、熾火の上に準備したサツマイモを入れてもらう等を手伝って頂きました。はじめは火を怖がる様子も見られましたが、コツが分かってくると率先して手伝ってくれる方もいました。

出来上がった焼き芋は天気も良かったので外で食べ、「熱い熱い」と言いながら皮をむいたり、「ホクホクだね」と各々が感想を口にしたりと、大好評のあまり「おかわり」の分はなくなってしまう程で、皆さん大満足の様子でした。



いも！イモ！芋！！

ふじみの園

10月21日(木) 当施設敷地内の畑で育てているさつま芋を収穫しました。ここ数年は毎年育てていますが、昨年は個体のできも良く、想像以上の大収穫で利用者も職員も驚きました。収穫したものは、天ぷらやスイートポテトにして、おいしく食べています。



天真庵でランチ

ちゃーむ

11月23日(火)当法人の天真庵での昼食を予定していたこの日。まずは、昼食前にみんなで公園遊び。秋晴れの空の下、ブランコ、滑り台、シーソーと、のびのびと遊びました。

天真庵では、事前に選んでいたカレーライスにざるうどん、天真うどん等をいただきました。「おいしい。」と言いながら両腕で丸を作ったり、笑顔があふれたり、残さず全部食べられたりと「おいしい」の表現は様々でした。食べ終わった後は、一人ひとり支払いの体験もし、楽しいひと時をみんなで過ごすことができました。



色々な作物を育てています

ふじみの園

さつま芋だけではなく、去年は色々な作物を育てることに挑戦しました。小玉スイカやミニトマト、黒豆の収穫を行いました。黒豆はご飯と炊いて食べてみようかと計画しています。



荘内でマ尔特衣料品の買い物を行ないました

やしおみ荘

10月27日(水)、11月3日(水)の2日間にわたり、マ尔特ファミリー中岡店様のご協力により、体育館にて利用者が買い物を楽しみました。新型コロナウイルスが少し落ち着いてきたところではありますが、まだ予断を許さない状況ではある為、荘内で買い物を楽しんで頂こうと、定期的に行事として行っています。

事前に欲しい物や必要な物を担当職員と一緒に考え、お店の方に衣類や日用品等を準備して頂き、体育館に並べられた商品の中から好みのデザインや色を手に取りながら選んで購入していました。品物を目の前にすると購入意欲が湧き、予定以外の物も買い物カゴに入れていた方もいました。

購入したものを早速身に着けて、嬉しそうにしている方が多く見受けられたと同時に、今回は秋冬の衣類を購入したことで、これからの季節に着る衣類を選び直した方もいました。

新型コロナウイルス感染症の状況が見通せないことも多いですが、以前のようにお店に出かけて、店頭で洋服を選べる日が早くくることを祈りたいと思います。

マ尔特ファミリー中岡店様、今回もご協力いただき、ありがとうございました。



居宅生活訓練事業 ～家庭菜園成功しました～

やしおみ荘

去年の6月から開始した調理実習も、献立で悩むこともあるようですが、2人で協力し合いながら順調に行っています。調理実習を重ねていくうちに、日中活動の一環・趣味として家庭菜園を行ってみたいと利用者から提案がありました。

職員と共に何の野菜にするか季節や食事のメニューのことも踏まえながら話をし、夏野菜のミニトマト・ピーマン・ナス・シシトウに決定しました。早速近所にあるホームセンターでプランターや苗・種、肥料を購入し、2人で水やり等の世話をしながら苗の成長を心待ちにしていました。

作物ができ始め、その食材を使った献立を考え、調理した後に食べるとより一層おいしく感じられたと話をしていました。

家庭菜園を居宅支援事業内で行うことは初めての試みでしたが、育てる楽しみ、食べる楽しみをそれぞれ感じられたことは、2人にとってとても大きなことだったようです。今は冬野菜のカリフラワー・ブロッコリー・小松菜を育て始め、朝肌寒くなってきたり水やりは欠かさず行っています。次の収穫が楽しみです。



メニュー：
三色丼・みそ汁・野菜炒め



天真庵 かき揚げうどん

こしのあるうどんに
揚げたてのかき揚げを
是非ご賞味ください。

一杯 500円(税込)

新管理者挨拶

就労継続支援B型 ワークセンターしおさい・天真庵 管理者 児島 朝子



令和3年11月より、ワークセンターしおさい、天真庵の2事業所の管理者として勤務させて頂くこととなりました。

平成29年12月よりサービス管理責任者の職責を担い、未熟ながらも周囲の支えによって今日まで勤めさせて頂きました。管理者となったことで、今まで以上の重責を感じてはおりますが、利用者様が生き生きと活動できる事業所となるよう精進してまいります。これからも、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

新人職員紹介



猪狩 道江（生活支援員）

（虹のかけはし）

令和3年8月1日より採用となりました、猪狩道江です。以前より、パート勤務をしておりましたが、この度職員として皆様と一緒に仕事にさせて頂く事になりました。どうぞ宜しくお願い致します。



宗像 由季（生活支援員）

（虹のかけはし）

令和3年9月1日より虹のかけはしに入職いたしました。先輩職員の方々にご指導を受けながら、また時には利用者の方々にも助けをもらいながら日々学ばせて頂いております。一人一人に合った支援が出来るように、また、一日でも早く仕事を覚え戦力となれるよう努めますので何卒宜しくお願い致します。



大竹 とも美（生活支援員）

（ふじみの園）

令和3年10月1日に入社いたしました。一日でも早く、仕事を覚えてお役に立てるよう努力いたします。ご指導の程、どうぞよろしくお願いいたします。

上遠野婦人会様より寄付を頂きました

やしおみ荘

7月28日(水)、上遠野婦人会様より、男性用・女性用の衣類や下着等を寄付して頂きました。

上遠野婦人会様からはこれまで毎年、施設のお祭りでのバザーを通じてその利益の一部を寄付して頂いておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大からお祭りが開催できない中、利用者のためにと温かいお心遣いを頂き、多くの衣類の寄付を頂きました。

今回寄付して頂きました衣類は利用者の意向を尊重し、有効に活用させて頂きたいと思っております。ありがとうございました。



屋根及び外壁改修塗装事業完了（赤い羽根共同募金）

みによん



障害児通所支援みによんは、社会福祉法人福島県共同募金会様から屋根及び外壁改修塗装事業費1,230,000円の配分金を受けました。みによんの建物は、築18年が経過し屋根の痛みが激しく雨漏りや屋根を止めているナットが腐食し外れて屋根が飛んでしまう可能性があることから屋根補修と塗装及び外壁シーリング等を含む改修塗装事業を行い建物の保全を図り生活環境を整えることが出来ました。子供や保護者の方も奇麗になった建物を見て大変喜んでいました。これから

も子供達及び保護者の声を聴き支援に取り入れながらより質の高いサービスを提供していきたいと思っています。

社会福祉法人福島県共同募金会様には、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

寄付を頂いた方

佐藤 淳一 様(佐藤理容所 様)

編集後記

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響のある中、東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。大いに盛り上がり世界各国が明るく元気になりました。新たな変異株も発見されている中、北京2022冬季オリンピックも開催予定です。無事に開催され明るい話題が増えることを期待します。この時期流行するインフルエンザ、胃腸炎にも気を付け、今後も一人ひとり感染予防をしっかり行い、寒さに負けず姿勢を正して過ごしましょう。